

令和4年2月28日

(2022年)

保護者の皆様

吹田市立西山田小学校

校長 鬼頭 孝雄

### 「学校教育アンケート」を終えて

保護者の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月に実施いたしました「学校教育アンケート」の集計及び結果の分析ができましたので、ご報告させていただきます。このアンケートは、本校の教育活動について改善すべきところを明確にし、今後の学校経営に反映させるためのもので、毎年実施しております。今年度は、373名の保護者の方々にご回答いただき、回収率は88%でした。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

アンケートの分析におきましては、「そう思う」「まあまあそう思う」という回答を合わせたものを肯定的な評価と判断し、肯定的な評価が80%を超えるものを「概ね良好」と捉えております。今年度も、保護者と児童の項目のほとんどが「概ね良好」であり、肯定的評価が90%を超えているものも多数ありました。しかし、否定的な回答の割合が多い項目もあることを重く受け止め、改善に向けた取り組みを進めていかなければならないと考えております。特に、読書の習慣につきましては、タブレットの普及にともなって生じる問題とともに、今後検討していく必要があると考えております。

また、保護者の自由記述欄につきましては、iPadの活用のことや水泳の授業のこと、学校行事についてなどたくさんのご意見をいただきました。アンケートは全教職員で閲覧し、改善に努めるよう検討をしております。修学旅行については、広島に行くことに対して肯定的なご意見が多数を占めました。ただし、今後も目的や内容を考えたうえで、保護者の皆様のご意見もお聞かせいただければと思います。コロナ禍で活動や内容が制限せざる負えない中、ご理解いただき本当にありがとうございます。

本校では教育目標として「考える子 やさしい子 たくましい子」の育成をめざし、知・徳・体のバランスを重視しております。コロナ禍のまま2年目を迎え、さまざまな工夫をしながら教育活動を行ってきましたが、体育的な活動につきましてはかなりの制限や変更をせざるを得ない状況でした。このアンケートの結果を今後の教育活動に生かすとともに、保護者の皆様と連携し一緒に心豊かな子どもの育成を図っていきたいと考えております。保護者の皆様からいただきました貴重なご意見を真摯に受け止め、よりよい学校をめざして教職員一同力を合わせて取り組んでまいりますので、今後ともご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

	項 目	そう思う	まあまあ そう思う	あまりそう 思わない	そうは思 わない
1	子どもは楽しく学校に行っている。	63%	32%	4%	1%
2	学校は、一人ひとりの子を大切に、わかりやすい授業を行っている。	37%	58%	4%	1%
3	学校は子どもたちがみんなの前で自分の意見や考えを発表できる場を設けている。	42%	50%	7%	1%
4	子どもは読書の習慣がついている。	27%	29%	32%	12%
5	「西山田っ子」を見て、子どもができたこと、できなかったことがわかる。	32%	58%	8%	1%
6	学校は、トラブルが起きた時、子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	34%	56%	6%	3%
7	学校は子どもに命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	45%	51%	3%	1%
8	学校のきまりはわかりやすく家庭に知らされている。(学校のきまり・夏休みのくらしなど)	48%	44%	7%	1%
9	子どもが快適に学習できるように、施設設備が整えられている。	39%	53%	6%	2%
10	学校は子どもの安全対策に配慮している。(避難訓練・集団下校・交通安全教室など)	50%	45%	4%	1%
11	地震や台風などの場合の対応が、子どもや保護者に知らされている。	62%	37%	1%	0%
12	子どもが学習している内容を知っている。	32%	53%	12%	2%
13	子どもの学校生活を支援するために、できることは協力したいと思っている。	61%	37%	1%	1%
14	早寝、早起きの習慣がついている。	44%	33%	18%	5%
15	朝ご飯を毎日食べている。	88%	8%	3%	1%
16	パソコンや携帯電話、ゲームの使用について、家庭でルールを決めている。	47%	37%	12%	3%
17	子どもは家の手伝いをしている。	33%	35%	28%	4%
18	修学旅行は今まで通り、広島方面を継続した方がよい。	29%	33%	27%	10%

ほとんどの項目で、80%を超える肯定的なご意見をいただきました。中でも「3. 学校は子どもたちがみんなの前で自分の意見や考えを発表できる場を設けている。」では、前年度から27%上がりました。タブレット活用の広がり、コロナ制限下でも、つながりを大切に授業作りをしてきたことの成果と思われる。また、「1. 子どもは楽しく学校に行っている。」、「2. 学校は、一人ひとりの子を大切に、わかりやすい授業を行っている。」、「10. 学校は子どもの安全対策に配慮している。(避難訓練・集団下校・交通安全教室など)」では、95%を超える肯定的な回答でした。さらに、98%の方が「13. 子どもの学校生活を支援するために、できることは協力したいと思っている。」に、肯定的な回答をされました。コロナ下で子どもも大人も制約の多い中で生活でも、学校と家庭が手を取り合っていけることを確信できる、勇気づけられる回答に感謝しております。

一方で、「4. 子どもは読書の習慣がついている。」では、肯定的な回答が56%と低く、課題が残りました。タブレットを

学校生活の中で使うことが当たり前になってきたことの表れとも受け取ることができますが、本をじっくりと読むことのよさも感じられる取り組みづくりに教職員一同で考えていきます。

「学校教育アンケート」 児童用

※無回答を含めて100%で算出しております。

	項 目	そう思う	まあまあ そう思う	あまり思 わない	そう思 わない
1	学校は楽しい。	60%	30%	8%	2%
2	学校行事（運動会など）は楽しい。	71%	22%	5%	1%
3	先生や友だちなどに自分からあいさつをしている。	47%	36%	14%	3%
4	学校のきまりを守っている。	42%	48%	8%	2%
5	自分の考えや気持ちをわかってくれる友だちがいる。	67%	22%	8%	3%
6	先生たちは自分が努力したことを認めてくれる。	61%	34%	4%	1%
7	話を聞いてくれる先生がいる。	62%	29%	5%	3%
8	地震や火事が起きた時、不審者が出たとき、どうすればよいかを学んでいる。	77%	18%	4%	1%
9	学校で自分や他人を大切にすることを学んでいる。	69%	28%	2%	1%
10	授業はわかりやすい。	59%	33%	6%	2%
11	みんなの前で話をするができる。	44%	29%	19%	7%
12	友だちの話をしっかり聞いている。	60%	34%	5%	1%
13	本を読むことが好きである。	51%	26%	10%	12%
14	「西山田っ子」を見て、自分ができたこと、できなかったことがわかる。	73%	20%	5%	2%

「8.地震や火事が起きた時、不審者が出たとき、どうすればよいかを学んでいる。」では95%以上の肯定的な回答をしていました。「6.先生たちは自分が努力したことを認めてくれる。」では、昨年度の91%から95%へと2年続けて肯定的な回答が上がっています。「9.学校で自分や他人を大切にすることを学んでいる。」では、97%と昨年度と同じく肯定的な回答が多く、授業で道徳的価値について考えることが実を結んでいるといえるでしょう。

一方、「11.みんなの前で話をするができる。」では、26%の児童が否定的な回答をしていました。安心して発言ができる集団づくり、話す力を育てる授業づくりを教職員一同、さらに取り組んでいきたいと考えております。